

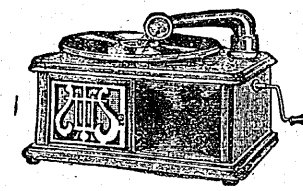
常警文藝

◇樂園

紅井夢路

芳々しい
あたゝかな空氣を
ふつくらと吸ひ込んで
重り合つた緑葉に
抱れつゝ
何の夢を見て
居るのか知ら
大きな紅い
ダリヤの花
何處からか甘い
好い香りの中に
おくられて
黄色い小さな蝶が一匹
微笑み乍ら眠れる
ダリヤの口もとに
いたづらげに
接吻する
やがて眼をさました
ダリヤは
蝶と何を語ることだらう。

ユ一ホン號
特價提供



正價
四十五圓
のところが
特價
三十五圓
(偽物あり
御注意)
四平
會田時計店
電話三三六三

社會藥製治明
PERRY BRAND
店理代
ヤトモツマ

常警新聞
刊夕日七十月七

定價
一圓金貳錢
一ヶ月廿錢
三ヶ月六錢
半年一圓
一年一圓八錢
郵税五厘
送料十錢

發行兼編輯人 川崎文治
印刷所 常警新聞社
福島縣石城郡平町長橋町廿五番地
發行所 常警新聞社
電話 每日新聞社

和久井屋漆器店
漆器指物
平町一丁目
電話四〇五番

片寄産婆方
小町田町(呼電話三三三番)
東京帝國醫科大學産婆復習科
卒業 鈴木エ
妊婦産婦御預り致し
ます。御困りの方には
無料でお扱ひ致します

新柄着尺モリス
博多電帯
龜田屋吳服店

小生儀今般白河地方擔當と
して轉勤を命せられ明日出
發仕候に付ては御當地在住
中公私共不一方御厚情を被
り候段乍略儀紙上を以て深
く御禮申上候
猶後任として針生權十郎來任の管何卒小生全様御
引立の程を奉希上候
明治生命保險株式會社
田中利吉
七月十七日

萬年瓦
萬年瓦工業株式會社
福島縣四倉町
電話三八番

白米
遠い所からも御遠慮なく電話一六〇
番を利用して御用命下さい、敏速に
然も親切にそして樹目の充分な良質
の白米を早速おとす致します

関内精米所
店主 關内信二郎
平町長橋町三七
電話(呼一六〇番)

葡萄酒
元造製密實果
通前所役郡町平
舖酒萄葡藤佐

大谷時計店
平町三丁目電話一九番

夏帽子
洋傘
大谷洋品部

五大特價
「買よき店、良品を安く
賣る店、其れは三井吳服店
です」
夏物豊富に揃へました
一、流行中形リンネット
二、珍柄モスリン着尺各種
三、蚊帳の見切品大廉賣
四、小供洋服大々的割引
五、吉凶御引物多数

三井吳服店
平町三丁目電話三十八番

常警論壇
東亞の不安
田中五郎

(二)

嘗て英國は支那に對して絶
大なる勢力の持主であつた
のであるけれども今かくの
如き狀勢にあるといふこと
は全く英國をして下り坂た
るを思はしむるものであつ
てその影響する處は決して
尠少ではない

即ち英國の有する印度方面
の勢力に對しても決して好
影響を與へざるべく印度に
して英國の羈絆を脱せんと

印度にしてかゝる狀勢に立
至る事は東亞の聯盟に就て
大なる力をなすものと想像
するものがあるかも知れぬ
が日本に對して果して如何
なる影響を與ふべきやとい
ふことに就いては大に熟慮
する必要がある

支那の彼の暴動が露國方面
より來れりとするならば次
てその勢力の及ぼし來る處
は日本であつて日本は決し
て樂觀することは出來ない

日本に於ける一部主義者の

爲に日本が支那の如き狀勢
に陥るが如きことは絶対に
想像し得ぬ處である

けれども支那暴動が東洋方
面に一抹の雲翳を投じたこ
とだけは明白である我々は
彼の事件が只單に支那一個
の問題としてではなく東洋全
體の問題として大に考究せ
ねばならぬことを信する

今回の事件は或は支那だけ
に於いて解決がつくかも知
れぬがその影響する處頗る
大なるを考慮して夫れなく
適當の方策を講ずべきであ
ると思ふ

(終り)

大瀧發電所の 工事變更は眉つばもの

不備だらけの設計書類
縣廳から突返さる

例の大瀧發電所問題に關しては小田吉次、栗原欣次郎の両氏が香坂知事に對して平町上水道取入口の上方に發電用水を放流する事にその位置を變更すべく口約したのに拘らず其儘該問題を投げ遣りに爲し時日の延引をのみ圖つて居た爲め町民側なる大瀧發電所反對同盟會の運動再燃せると縣から口約履行に就いて矢の催促を受け平電氣會社はやむなく設計を變更した一件

位置を 變更すべく
口約したのに拘らず其儘該問題を投げ遣りに爲し時日の延引をのみ圖つて居た爲め町民側なる大瀧發電所反對同盟會の運動再燃せると縣から口約履行に就いて矢の催促を受け平電氣會社はやむなく設計を變更した一件

書類を 縣へ提出し
たが縣にては是れを精細に調査した結果同設計變更の圖面は杜撰極まりなく到底技術者の考究する價値なきまでの不備だらけのものである事を知り再提出すべきやう此程返戻されたが同設計變更書類によれば成程位置は平町上水道取入口の上方に 放流すべく變更してあるが其場所には實際に於て平電氣會社の見なす如き發電工事の場所はない所であるに依つて見れば同會社は眞に變更するの意志なく只一時を糊塗する爲めの窮策に出たものと見られて居るので今後果して如何なる場所を選定し

再提出 を爲すべき
やに就いて頗る注目の焦點に置かれてある
雨あがり
不良 飲料水取締
傳染病の媒介

さうざ氣を揉まされた先達來の不順な天候も、どうやら今度は大体に於て定まつた賞品よりも
優勝旗が欲しい
少年騎手の祈念


少年騎手の祈念
昨日の競馬會では當年僅かに十三歳の茨城縣磯原町小松兼吉氏長男兼雄君が決勝戦に一等賞の榮冠を擔へたの男をアツト云はせた、兼吉君は幼時から馬が大好きで両親の手に餘した飼馬「コマツ」を覗き廻し母のフトコロに抱かれて寝るよりも馬舎の一隅の釣り床に寝た方が寝覺めがよいと云つた調子、競馬に出たのは今度か始めてだが風にならぬ優勝旗が欲しくてならぬ決勝戦の當日にも朝の四時頃入幡様へお参りして「賞金はごうでも優勝旗だけは取らして下さい」と紅葉の様な手を合せたのだつたとは可愛い

らしいしばらく打續いた天候から例年よりは多い様に思はれるチブス赤痢などの傳染病も梅雨あけのこれからが一層警戒を要する時季

であるが一方その原因となる不良飲食物の取締に就て平署では隨時隨所に於て之れが勵行中でサイダ、ラムネ等の飲料水中塵芥その他沈澱物や酸化物が混入しあつた爲めその廢棄を命ぜられた向もあるが尙腐敗物や不熟な果物などを店頭に並べて居た商人に對しても夫々取締方法に基いて説諭その他適當な處分方法を以て今後を戒告中である

**泣かされた梅雨が
愈々悪戯を納めて**
これからはカンカン照る
小名濱測候所の談

寒かつた、暑かつたり随分變てこな天氣で泣かされた梅雨がいよいよ悪戯を納めて、これからはお天道様が思ふ存分の暑さで人間共を苦しめるだらうと小名濱測候所では次の如く語つた
『永らく愚圖付いて居た天氣も漸く晴れてからりとして來た是れで梅雨を過ぎたのである此天氣は全國的で當分は續事であらう氣温は低いが併し明日頃からすつ



ナメクジ驅除法
毎夜遅くなりますと二寸か三寸位の緑色を帯びたナメクジが台所や甚だじきは布

家 庭 欄

炭車に激突
坑夫生命危し
石城郡磐崎村大字藤原字班堂小野田炭坑運搬夫矢吹義登(ハ)は同炭坑南斜坑々内に於て去る十五日午前零時三十分炭車四輛をロープにて連結し捲上中脱線せる炭車に激突し入負傷を負ひ生命危し

**小名濱沖合で
マダロ十一尾**
鯉餌付憑し
磐城丸報告

と高くなる此調子では一時悲觀された農作物もぐつと復して来るに違ひない又山登りには今が絶好時で安心して出来る

團部屋に迄出て來る爲め薄氣味が悪くて非常に困るが何んとか是れを取り除く方法がないかとお問合せになつた方が御座いますから一般の御参考にもなる事でありその驅除法を一寸申上げます、それには藥品等に依る場合もありせまうが危険が伴へますから古くより傳

り翌十四日午後一時半小名濱百四十五連の海區にて 鮫付鯉群を認め午後四時まで二時間餘に亘り釣方に従事し鯉三百尾を釣獲し越て十五日午前六時半小名濱百五十連の海上に於て鮫付鯉交り群に會し午前九時半まで二時間に 亘り鯉百五十尾及び十二貫大鮪十尾を釣獲したるが兩海區とも群薄く餌付不良なる爲め歸航途中十五日午前三時頃小名濱百連附近にても小鯉群を認めたるも餌付かず漁獲を見合せ十六日午前六時半小名濱に歸港した

常磐片々

平電氣が縣廳へ差し出した大瀧發電所の工事變更書類は出鱈目の出放題であつたといふ

賞金よりは優勝旗がほしいとねぎ事をかけた少年騎手が競馬會で第一等賞

針程願つて棒程かなつた爪の垢でものもんではどうか

鐵道界空前の大事業 自動連結器の付替へ

鐵道界空前の大事業と云はれる自動連結器の付替作業は愈々今十七日全國一齊に施行される筈であるが日本で鐵道が明治五年二月に東京横濱間に敷設されて以來五十二年一として貨車のない運轉休止をする事になり平驛にても午前五時から「事故は計畫を破る事

を諸所に掲出して従業員の

運轉を 休止した事

水野郡長監視 水野
石城郡長は行政監視の爲め昨日植田本日山田を終へ明

夏井簡閱點呼 石城
那夏井村に於て八月十一日簡閱點呼施行するに付十日同村小學校に於て未教育補充兵の豫習をする

平町人事
▲婚姻
▲古銀治三(一)爲永英次郎氏(四八)石城郡大野村塚部字山崎八山崎イソ(三八)

猪狩書記出縣 本縣
議事堂に於て來る二十一日より五日間統計講習會を開催するに付石城郡高久村役場より猪狩千代司書記が出席すると

綴驛の作業
午前十一時頃に終る
綴驛にては自動連結器付替作業應援の爲め宇都宮機關庫より職工百七十名來り本

重傷を負ふて
坑底に血塗れ
石城郡内郷村大字宮警城炭礦居住新瀉縣生れ運搬夫帆

脱線した
炭車に激突
坑夫生命危し
石城郡磐崎村大字藤原字班堂小野田炭坑運搬夫矢吹義登(ハ)は同炭坑南斜坑々内に於て去る十五日午前零時三十分炭車四輛をロープにて連結し捲上中脱線せる炭車に激突し入負傷を負ひ生命危し

耳の兎
豆腐ばかり食ふ女
原籍福井市乾町惣吉長女樹瀬ふさ子(三)は三歳の時から今日迄豆腐以外の物は少しも食べられず十八歳の時婿養子を迎へ四歳と二歳の二人の子供を設けたが父や夫は世にも不思議なひさ子の性格に世間體を取らつてつらく當るので子供を置去りに十一日無斷家出したと